

関係団体連絡先等登録票

運営協議会名	地域子ども教室融合研運営協議会
問い合わせ先	
(団体名)	学校と地域の融合教育研究会地域子ども教室本部事務局
(担当者)	運営協議会 会長 庄子 平弥
(連絡先) TEL FAX E-mail	TEL 022-214-2065 FAX 022-723-0892 E mail yugouken@zundanet.co.jp
(ホームページ)	HP : http://www.yu-go.info/ ブログ : http://blog.goo.ne.jp/yugo-kodomo/
広報のポイント	<p>本会は、学校と地域の融合教育の積極的な推進を目的として活動してきた教育団体である。</p> <p>これまで行なわれて来た「子どもの居場所づくり事業」は、本会の活動目的達成のため乗り越えなければならない大きなハードルであり、実証実験の場として最も相応しい事業であるとの認識のもと、平成18年度は全国35ヶ所で子ども教室を運営した。</p> <p>地域と出会った子どもたち、地域が出会った子どもたち、それぞれ新鮮な発見があり、地域のおとな、子ども、その保護者、学校、教育委員会、或いは行政がそれぞれに緊密な連携の下に教育を考え、教育に関わる重要性について認識を日々新たにすることが出来た。</p> <p>各教室の活動現況は、ブログをご覧ください。</p> <p>新年度事業には要請があれば、積極的に協力する用意がある。</p>



学社融合フォーラム2006 in 仙台 地域子ども教室研修会



日時 ● 2006年10月14日(土) 13時から
● 2006年10月15日(日) 9時から
会場 ● 仙台市立黒松小学校

14日

- 13時～ 融合フォーラム2006 in 仙台 開会
- 13時15分～ 基調報告「キャリア教育への取り組み」(14時まで)
※ 昨年の記録映像を元に、そのねらい、内容など、詳しく説明を行う。
- 14時15分～ パネルディスカッション I
「教育の新しい姿を求めて～キャリア教育への取り組みを通して～」
- 16時00分～ ポスターセッション
※ 地域子ども教室の実践報告を行う。
- 16時45分 閉会(会場移動)
- 18時30分 大懇親会(バレスへいあん)

15日

- 9時～ 仙台市地域子ども教室研修会 開会
- 9時20分～ 実践発表(5教室)
- 10時10分～ パネルディスカッション II
「地域子ども教室の成果について」
- 11時50分～ 仙台市地域子ども教室研修会 閉会
- 13時 融合研運営協議会(15時終了予定)

主催

仙台市地域教育力再生プラン運営協議会・学校と地域の融合研究会東北支部
地域子ども教室融合研運営協議会

後援

仙台市教育委員会

平成16年、子どもが関係する重大事件の続発等をきっかけに、文部科学省は緊急3ヶ年事業として「子どもの居場所づくり～地域子ども教室推進事業～」の実施を決定しました。あれから2年半、状況は改善されたのでしょうか？最近では、一番身近な家族に対する殺傷事件が立て続けに報じられるなど、ますます悪化しているように思えます。

私自身「地域子ども教室」を立ち上げたとき、新しい取り組みを危惧する声もありましたが、試行錯誤の活動の中で、一人また一人と仲間が増え、学校・地域の理解も深まり、やっとこの頃、地に足のついた活動と実感できるようになりました。何より、リピーターの子どもの増え、地域の大人との新しい人間関係が生まれてきたことが一番の収穫といえるでしょう。時間はかかりますが、地域に新しい形の「教育力」が確かに生まれていることを、この会場でご確認ください。そして引き続き皆さまのお力をお貸しください。

早くから学校教育と社会教育の融合を目指し、先駆的な活動と研究をしていらっしゃる「学校と地域の融合教育研究会」とご一緒できることを、心から感謝いたします。

仙台市地域教育力再生プラン運営協議会 会長 山川 由紀子

.....

今回の研修会は、多くの皆様のご協力で、このように爽り多い研修を行なう体制が整いました。ご協力いただきました皆様にもまずもって感謝いたします。

仙台市教育委員会が運営する地域子ども教室と合同の研修会となりましたが、今後は地域ぐるみで子ども達の幸せを守り、安全で安心して学び、存分に遊ぶことの出来る地域をつくって行くための協働体制づくりの素晴らしい体験活動であると思います。

新しい方向性を確かなものとするための試金石として学び取ってお傳りいただければ、望外の喜びでございます。

地域子ども教室融合研運営協議会 会長 庄子 平弥

発表
事例

1

子どもクラブ「住吉だいっ子」

仙台市子ども教室—住吉だいっ子

住吉台は仙台的北西、泉が岳のふもとに位置する新興住宅地です。

住吉台小学校は、昭和63年、226名でスタートし、10周年時は1200名のマンモス校。

人口は急増しましたが、お互い知らない人ばかりで、地域としての問題は多く、悩みは大きかったです。「地域の子どもは、地域で守り育てたい。」と学校・PTA・地域が協力し模索し始めました。そんな1つが太鼓で、その太鼓を核として「地域子ども教室推進事業」に参加して3年。学校と様々な地域の方々の協力を得ながら、試行錯誤で少しずつ居場所を増やしてきました。たくさんの子どもの笑顔に出会い、安心して安全な子どもの居場所には、たくさん大人の力が必要なことも実感しました。地域力ある街づくりはまだまだ続きますが、学校を軸とした地域のネットワークづくりに少しは貢献できたかもしれない。本日はそんな私達の活動を紹介させていただきます。



反田 恵美子

小松島子ども教室

仙台市子ども教室—小松島子ども教室

「小松島子ども教室」は、平成17年度仙台市から「地域子ども教室推進事業」として委託を受け、本年度で2年目を迎えます。同じく、平成17年に小松島小学校校庭に新設された、小松島児童館を中心に、校庭、地域での活動を行っています。

民生児童委員さん、保護者の方、地域で活動している団体の方と連携し、地域に根ざした多様な体験活動、交流活動などの機会を創出してきました。子たちが地域の人々と交流できる機会を設けることで、人の付き合い方を学んだり、社会のルールを身につけたりする力を育むことを目的に活動しております。

本日は、小松島子ども教室の取り組みを紹介させていただきます。

武田 陽子



「遊YOU広場」の活動について

ゆうこう子ども教室—北海道遊YOU広場

「遊YOU広場」は地域のボランティアスタッフと教育委員会によって、今年6月からスタートした新しい地域子ども教室です。

月2回程度、水曜日の放課後や土曜日に枝幸小学校を会場として活動しています。これまでにスポーツ、自由遊び、しゃぼん玉作り、竹とんぼ作り、読み聞かせや紙しばいなどを行ってきました。

また、教育委員会などで行った事業のこうもり探検や巡視船体験航海などに「遊YOU広場」として参加し、ふだんではできない体験をしました。また、地域の子ども会リーダーによるお祭りに出店し、地域の中での活動にも挑戦しました。

子どもたちの参加は、多い時には60名以上にもなるため、少ないスタッフで毎回てんてこまいですが、地域のいろいろな人たちの力を借り、肩の力を抜いて楽しみながら活動していこうとみんなでがんばってます！

森 智恵子



四街道地域子ども教室「まじゃりんこ」

ゆうこう子ども教室—まじゃりんこ

「まじゃりんこ」は、千葉県や四街道市が実施した「共に築く地域社会」事業に結集したNPO等10数の市民活動団体の「子ども達を地域ぐるみで育てたい」という願いと、融合研の理念とが結びついて誕生。

イベントや講座頼りではなく、不登校や引き籠もりなどの子どもを含めそれぞれの想いに即して過ごせる居場所を目指し、土・日を含めほぼ毎日開所。現在、学校や地域で孤立しがちな子や保護者が外国人の子なども来所し、多い日は20名近く、少ないときには0という日もある。

子ども達を「見守る」さぼおとさんには、10歳代の短大生から70歳を超えた人など全年代がおり、その中にはニートと言われる青年もいる。そして、それぞれの個性や考え方で見守っている。子どもにも大人にとっても人間体験の場にもなっており、文字通り「まじゃりんこ」である。

今では、児童家庭課や教委社教課が子どもに関する行政を進める際の有力な相談相手にもなっている。



江口 勝善

芝川町学社融合事業「オペラをつくろう2006」

ゆうこう子ども教室—静岡県芝川町子育て広場

平成18年2月、芝川中学校敷地内に町の文化ホールと学校の講堂を兼ねた複合的文教施設「くれいどる芝楽」が完成しました。これを機に、この施設が町民の文化発信の基地となり、子どもから大人までの地域住民が温かくふれあうことができる空間とすることを目的に、本事業が計画されました。学校にとっては、地域と共に歩む特色ある学校づくりの第一弾です。オペラは、地域の伝説を題材に、本町の特産である竹をふんだんに活かした『かくや姫』と決めました。

活動は5月から始まり、80人を越えるスタッフが、12月9日(昼・夜2回)の公演を目指して練習や舞台装置などの制作に励んでいます。役割も出演者だけでなく、舞台監督、照明、美術、衣装と幅広い範囲に及んでいます。学校は、水曜日の放課後は、部活動を全て中止して、希望者が全員参加できる態勢をとっています。



西川 初子